

令和7年度

学校自己評価報告書

令和7年 9月15日
社会福祉法人 スマイルリング・パーク
宮崎医療管理専門学校
自己点検評価委員会

はじめに・・・評価基準、方法、根拠等について

本校では、学則第4条及び自己点検・評価規程に拠り、またPDCAサイクルをふまえ、学校評価を実施している。学則等の基準、今年度の学校及び各学科、係の方針、計画等に基づいた学校運営や教育活動に対し、今年度前期の取組について総合的に評価した。

根拠として、令和7年度自己点検・評価実施要項及び校務分掌概要に基づく各評価（学科、係、教職員研修、人事考課）資料、定例の各会議（科会、企画会議、教職員会議）の議事録、日誌、報告書、復命書等がある。

今年度、設置者を学校法人から社会福祉法人に変更し、「感動・感激・感謝」の理念のもと、学校運営体制の刷新、社会的ニーズを見据えた改善改編を図っている。併せて、それらを印象づけることをふまえた広報活動を展開し学生の確保に取り組んでいるが、教育の質の確保や一層の充実を念頭に個々の取組をふりかえり、業務の改善に努め、状況の変化に対応していく必要がある。

評価結果にある改善策及び9月22日開催の学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会をふまえ、後期以降の学校運営、教育活動に当たっていきたい。

評価項目を以下の10項目として、また、評価段階を各種評価と同様の5段階（5：大変良い 4：良い 3：ふつう 2：あまり良くない 1：良くない）としている。

1 教育理念・教育目標

	評価項目	評価
①	教育理念・目標が設定されている	5
②	人材育成像・指導方針が設定されている	5
③	① ②を明文化している	5
④	① ②について、周知徹底されている	3
⑤	① ②について、実践し教育に現れている	3

[状況・課題]

- ・設置者変更に伴い、新たな教育理念や目標に変更しているが、教職員及び学生共に周知及び教育効果に関して評価に至る取組が不十分である。

[改善策]

- ・特に各学科の評価項目に明記するとともに、ガイダンスや学生会活動等の学校行事、関連する教科目において意識づけや醸成機会を設ける
- ・校務分掌、学生満足度アンケートに項目を追加し、年間評価（数値、記述）に反映させることをふまえ改善に努める。

2 学校運営

	評価項目	評価
①	学校運営方針及び各種規定が明確に定められているか	3
②	学校運営の事業計画が定められ、計画に沿って運営されているか	3
③	学校の運営組織や意思決定機能は効率的なものであるか	3
④	人事や処遇に関する制度が適切に整備され、運用されているか	3
⑤	業務の効率化、経営の視点による取組が行われているか	3

[状況・課題]

- ・設置者が学校法人から社会福祉法人に変わり、整合性や継続性、一貫性において各項目とも課題が多く、学校運営及び教育活動に支障が生じている。

[改善策]

- ・上半期の総括をふまえ、各規定及び制度等を明確にし、適正化を図る。
- ・上記をふまえ、改めて下半期及び次年度の事業計画を確認し、教育活動及び事業展開のための体制を整備（再編含む）する。そのうえで各担当者の業務及び責任を明確にし、個々の評価に反映させる。

3 教育活動

	評価項目	評価
①	カリキュラムは体系的かつ適正に編成されているか	4
②	人材ニーズ等に合わせ、カリキュラムの見直しが行われているか	3
③	成績評価・単位認定の基準は明確に設けられているか	5
④	授業計画が明文化され、それにもとづく教育を実施しているか	4
⑤	授業評価の実施、評価体制が整っているか	4
⑥	教員の資質、指導能力向上に対する方策を採っているか	4
⑦	資格取得の指導体制はあるか	4

[状況・課題]

- ・現行のカリキュラムについては適正に編成されている。
- ・学科改編に伴うカリキュラムの見直しを実施している。
- ・法人の多岐に渡る研修に参加し、個々の資質や職能の向上に努めている。また、学校運営及び教育活動に係る全体研修を実施している。

[改善策]

- ・②について、教育目的や学校及び学科の体制づくり、行政手続き等をふまえ、年内に見直しを終える。

4 学修成果

	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	4
②	資格取得率の向上が図られているか	4
③	退学率の低減が図られているか	3
④	卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか	3

[状況・課題]

- ・③について、退学の意向を示している学生や保護者に丁寧な対応を取っている。
- ・④について、夏期の職場訪問等実施しておらず計画的な状況等把握に至っていない。
- ・卒業生にDMを送付し、一部ではあるが状況の確認ができた。

[改善策]

- ・③について協議の場を設け、慎重を期して対応するとともに退学の防止につなげる。
- ・④について、実習指導や就職指導の際、また、同窓会活動を通じて卒業生の状況等の把握に努める。

5 学生支援

	評価項目	評価
①	進路指導に関する体制が整備され、機能しているか	4
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	4
③	学生の経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	4
④	保護者と適切に連携しているか	4
⑤	卒業生への支援体制はあるか	3

[状況・課題]

- ・①～④について、昨年同様良好である。
- ・⑤について、随時の対応はあるが、支援体制としては不十分である。また、同窓会との連携についても検討されたが実施に至っていない。

[改善策]

- ・⑤関連で、設置者変更及び同窓会の現体制の見直しもふまえ、具体的な支援について検討し実施につなげる。

6 教育環境

	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上、充分に対応できるよう整備されているか	3
②	実習やインターンシップについて、十分な教育体制が整っているか	4
③	防災に対する体制は整備されているか	4

[状況・課題]

- ・①について、一部校舎の改修が行われているが、学科及びコース設置やカリキュラムの変更に伴う設備や備品の整備等、教育活動上の対応が必要である。
- ・②について、カリキュラムやシラバスの見直しを進めている。

[改善策]

- ・①について経営上の厳しさは続いているが、計画的に改善する。

7 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	3
②	教育成果の情報提供は、適正に行われているか	3
③	入学選考は、適正かつ公平な基準により行われているか	4
④	学納金は、妥当なものとなっているか	4

[状況・課題]

- ・学生募集について、予算及び執行関係の不明確さ、計画の変更等があり適正とは言えず、評価に係る活動において影響が出ている。

[改善策]

- ・再度の募集停止（一部）や広報手段、内容の変更等による影響は続くと考えられる。広報活動そのものを含め、「変わる、はじまる。」を印象づけること、ニーズを先取りした取組を「適正」と位置づけ、募集活動を展開していく。

8 財務

	評価項目	評価
①	学校の財務基盤は安定していると言えるか	2
②	予算、収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	4
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4

[状況・課題]

- ・設置者変更により財務基盤は確保できたが、本校存続、学校運営に係る状況が改善できるか不透明で、将来的な安定が見通せない状況にある。

[改善策]

- ・引き続き、法人の安定した支援、学生募集及び新規事業等による収益の確保に鋭意取り組み、経営の改善を図る。

9 法令等の遵守

	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③	自己点検・評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
④	自己点検・評価の結果を公表しているか	5

[状況・課題]

- ・③について、組織運営上の課題もあり、改善につなげる体制の見直しが必要である。

[改善策]

- ・③について、学科改編や募集活動等、経営改善につながる事項に焦点を絞り、後半の評価に反映させる。

10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
①	学校の教育資源を有効活用した社会貢献を行っているか	5
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③	地域や関係団体との連携や交流を通して、地域活動に参加しているか	5

[状況・課題]

- ・②について、年間を通し、動員数からも積極的な奨励、支援をしたとは言えない。
- ・①③について、法人や地域の諸団体との連携、協力により積極的な取組ができた。

[改善策]

- ・全学的な取組としてボランティア活動への参加を促すとともに、新法人関連事業所や本校独自の活動を企画、実施する。 ※継続
- ・法人関連事業所や団体との連携及び交流をさらに進めるとともに、継続的発展的な社会貢献につなげ、本校の存在価値を高めていく。

以 上